

第1学年 美術科 年間学習計画と評価

1 教科目標等について

目標	<p>表現及び鑑賞の幅広い活動を通して、造形的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の美術や美術文化と豊かに関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1) 対象や事象を捉える造形的な視点について理解するとともに、表現方法を創意工夫し、創造的に表すことができるようにする。</p> <p>(2) 造形的なよさや美しさ、表現の意図と工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。</p> <p>(3) 美術の創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を育み、感性を豊かにし、心豊かな生活を創造していく態度を養い、豊かな情操を培う。</p>
教科書	美術1(日本文教出版)
副教材	美術資料(秀学社)

2 評価の観点及び方法

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> 対象や事象を捉える造形的な視点について理解している。 意図に応じて表現方法を工夫して表している。 	<p>自然の造形や美術作品などの造形的なよさや美しさ、表現の意図と工夫、機能性と美しさとの調和、美術の働きなどについて考えるとともに、主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を広げたりしている。</p>	<p>美術の創造活動の喜びを味わい楽しく表現及び鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。</p>
<ul style="list-style-type: none"> アイディアスケッチ ワークシート 授業の様子や発言内容 作品 定期テスト 	<ul style="list-style-type: none"> アイディアスケッチ ワークシート 授業の様子や発言内容 作品 定期テスト 	<ul style="list-style-type: none"> アイディアスケッチ ワークシート 授業の様子や発言内容 作品

3 学習についてのアドバイス

学校	<ul style="list-style-type: none"> 自分の感性や個性を大切にして、美術の活動に取り組みましょう。 主題(自分の表したいこと)をもって制作に取り組みましょう。 主題をアイディアスケッチや文章に表現して、構想を練りましょう。 作品について感じたことを友達とじっくり話し合ひましょう。 鑑賞の学習では、作者の心情や表現の意図と工夫について考えましょう。
家庭	<ul style="list-style-type: none"> 生活の中で、「きれいだな」「すてきだな」「おもしろいな」と思った絵やデザイン、写真、形などをスケッチしたり写真に撮ったりしてアイディアを貯めておきましょう。 いろいろなものをよく見ましょう。また、いつも見ているもの、身近なものでも、見る角度を変えると新しい発見があります。普段から「見方を変えて見る」ということをしてみましょう。

4 主な題材・教材及び目標

※単元等や目標については、主なものを明記しています。

月	主な題材・教材等	主な学習目標
1 学期	<p>○オリエンテーション</p> <ul style="list-style-type: none"> ・美術との出会い ・中学校美術の世界へようこそ <p>○文字っておもしろい (デザイン)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文字の基本(レタリング) ・絵文字 <p>○絵画制作の基本を知ろう (絵画)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・色彩の基本・仕組み ・鉛筆で描く 	<p>○美術科ではどのようなことを学ぶのかを知り、1年生で学ぶことや、3年間の学習の見通しをもつ。</p> <p>○イメージや伝えたい内容が相手に分かりやすく伝わるよう、形や色彩、構成を考え、材料や用具などを工夫して文字をデザインする。</p> <p>○レタリングの基本となる明朝体やゴシック体の描き方を理解する。</p> <p>○身近なところにあるデザインされた文字を鑑賞し、形や色彩から受ける印象やその違いについて考える。</p> <p>○文字の意味やイメージを基に、伝える相手や場面などから主題を生み出し、分かりやすさと形や色彩などとの調和を考えてデザインする。</p> <p>○互いの作品を鑑賞し合い、表現の意図や工夫について理解を深める。</p> <p>○色相環など、色の基本や仕組みを理解する。</p> <p>○鉛筆やアクリル絵の具の基本的な使用法を学習する。</p>
夏 休み	<p>○ポスターを描こう</p>	<p>○伝えたい情報やイメージを基に、伝える相手や場面などから主題を生み出し、分かりやすさと表現の工夫との調和を考えてデザインする。</p> <p>○材料の特性を生かして、意図に応じて工夫し、見通しを持って制作する。</p>
2 学期	<p>○人間っておもしろい(絵画)</p> <p>○遠近感を表そう(絵画)</p>	<p>○その人らしさが表れる表情やポーズ、しぐさなどを考えながらクロッキーを行う。</p> <p>○用具を生かして、意図に応じて工夫して表す。</p> <p>○互いの作品を鑑賞し合い、表現の意図や工夫について話し合う。</p> <p>○線遠近法の面白さに触れ、風景や空想画を描く際に効果的に活用できるように表現する。</p> <p>○色鉛筆の特性を生かして、意図に応じて工夫して表す。</p>
3 学期	<p>○アニメーション制作 (デザイン)</p>	<p>○パワーポイントを使って、短時間アニメーションを制作する。</p> <p>○あらゆる角度の図を描くことにより、自然に動くようにあらかわす。</p>